

令和6年度事業計画

1 現状

高齢者をめぐる国の動きは、人口減少、少子高齢化の進捗により、企業に対して人材確保や年金問題への対策の一環として、継続雇用制度導入、70歳までの定年延長さらには定年制の廃止などの措置を講ずる努力義務を課し、労働環境が大きく変わろうとしています。

一方、シルバー人材センター（以下「センター」という。）にあつては、人生100年時代を迎え、元気なうちはいくつになっても働き続けることができる就業環境を整え、就業を通して高齢者の生きがいを求めるため不可欠かつ重要な存在です。

しかしながら、全国のセンターで会員数は、減少傾向であり、当センターにあつても企業の労働環境やコロナ禍等の影響もあり会員数の減少が続き、それに伴いお客さまからの受注件数及び受注額が減少してきました。

また、インボイス制度や新たな*フリーランス法（特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律）制度への的確な対応が必要となっています。

※フリーランス法とは？

従業員を使用しない（フリーランス）方が、安心して働ける環境を整備するために定められた法律。

2 基本方針

令和5年度に会員アンケートを実施し、当センターの現状と課題を把握し、その解決策を整理した「令和6～8年度中期経営計画（以下「中期計画」という。）」を策定しました。当センターにとって初めての計画策定となり、三ヶ年の運営方針に基づいて事業を進めてまいります。

今年度は、役職員が一丸となって中期計画の初年度に取り組む事項を確実に実行していくとともに、実施した内容の評価を行います。

地域の皆様、事業所、行政機関等のご理解とご支援を賜り、地域社会にとって必要不可欠なセンターとなれるよう取り組んでまいります。

3 事業目標

基本方針に基づき、令和6年度の事業目標を次の通り設定します。

○会員数	310名
○就業延人員	23,740人日
○契約金額	151,000千円
○派遣事業就業延人員	7,388人日
○派遣契約金額	42,210千円

4 事業計画

中期計画期間の初年度として、重点的に以下の項目を実施します。

(1) 会員の拡大

- ① 入会に向けた新たな取り組み
 - ・入会システムの簡素化
 - ・入会説明会の工夫
- ② 会費の見直し
 - ・新規入会会員の初年度会費の検討

(2) 就業先を拡大する取り組み

- ① 新たな就業の場を開拓
 - ・関係機関との連携強化
- ② 高齢会員の就業サポート
 - ・多治見駅周辺やセンター施設を利用した就業機会の確保

(3) 安全・適正就業の推進

- ① 作業手順のマニュアル化
 - ・各作業別就業マニュアルの作成
- ② 事故、トラブル事例の共有化
 - ・ヒヤリハット体験の募集
- ③ 安全並びに技能講習会の実施
 - ・事故防止、技能向上の講習会の開催
- ④ 適正就業の推進
 - ・会員のスキル把握

(4) センター満足度の向上

- ① デジタル化の促進
 - ・ホームページの充実、スマホ教室の開催
- ② サービスの向上
 - ・請求金額のコンビニ振込の検討
- ③ 「ほっとふる」の有効活用
 - ・高齢者が集える場所としての利用を検討

(5) 持続可能な経営基盤の確立

- ① 事務局の強化
 - ・就業サポート会員制度の検討
 - ・ガバナンスの強化（中期計画の進行管理）
- ② ICT化の促進
 - ・Smile to Smileの登録支援

- ・ペーパーレス化の取り組み
- ③ 配分金見積基準単価の見直し
 - ・最低賃金等を考慮した単価改正の検討

5 その他

(1) 派遣事業・職業紹介事業の推進

・労働力不足に悩む各企業の要請や高齢者の様々なニーズに応じられるよう県連合会と協力して派遣事業・職業紹介事業を推進します。

(2) 調査研究・各種相談事業の推進

各種関係機関や団体等との情報交換や会議等に参加し、シルバー事業の現状と課題の把握、今後の事業推進のための調査研究を実施します。また、高齢者の就業及び社会参加活動を推進するため、入会説明会や高齢者就業相談を通して会員及び一般高齢者の方に雇用、就職、社会活動に関する情報提供、相談に応じます。